

千葉県立小・中・中等教育・特別支援学校  
学校給食施設ねずみ等衛生害虫駆除消毒業務委託 仕様書

## 1 業務内容

### (1) 小学校及び特別支援学校（養護学校及び第二養護学校）の給食施設での業務

#### ア ねずみ防除業務

実施方法：毒餌法（殺鼠剤を実施場所に配置する）

実施場所：食品庫、雑品庫、調理室出入口等

#### イ 衛生害虫駆除・消毒業務

実施方法：残留噴霧法（殺虫剤をハンドスプレーヤーにて残留噴霧する）

実施場所：調理室、食品庫、雑品庫、下処理室、各階給食受取室等

ただし、配膳台は対象外とし、薬剤を噴霧しないこと。

### (2) 中学校（中等教育学校を含む。以下同じ）及び特別支援学校（高等特別支援学校）の給食施設での業務

#### ア ねずみ防除業務

実施方法：毒餌法（殺鼠剤を実施場所に配置する）

実施場所：【中学校・高等特別支援学校共通】 1 階給食受取室出入口等

【高等特別支援学校固有】 1 階喫茶室、2 階食品加工室及び準備室

#### イ 衛生害虫駆除・消毒業務

実施方法：残留噴霧法（殺虫剤をハンドスプレーヤーにて残留噴霧する）

実施場所：【中学校・高等特別支援学校共通】 1 階給食受取室、各階給食受取室等

【高等特別支援学校固有】 1 階喫茶室、2 階食品加工室及び準備室

ただし、配膳台は対象外とし、薬剤を噴霧しないこと。

## 2 委託期間

契約締結日から令和 5 年 8 月 2 5 日（金）まで

## 3 業務実施期間等

### (1) 業務実施期間

夏季休業期間である令和 5 年 7 月 1 8 日（火）から 8 月 2 5 日（金）までとする。

ただし、8 月中旬頃に 1 0 日間程度、学校の人員が不在となる期間があることから、その期間には業務を実施しないこと。なお、学校の人員が不在となる期間が確定次第、発注者から受注者に連絡する。

また、夏季休業期間において、一部の学校で給食室の冷暖房設備設置等の工事が予定されている。施工期間が確定次第、発注者から受注者に連絡するとともに、業務を調整することがあるため、留意すること。

## (2) 実施対象校

別紙「実施対象校一覧」のとおり

なお、実施対象校ごとの実施スケジュールについては、受注者が作成すること。

## (3) 回数

各校1回とする。

## 4 条件

- (1) 業務時間帯は、8時30分から16時00分までとする。
- (2) 業務実施スケジュールについては、受注者が作成したものを発注者に提出し、必要に応じて協議の上、決定する。また、決定したスケジュールについては、発注者から各学校に通知する。
- (3) 業務実施スケジュール決定後に変更が生じたときは、直ちに発注者に連絡し、指示を受けること。
- (4) 業務従事者は、業務実施前に必要な細菌等検査を行う等、従事者の健康管理に留意すること。  
なお、検査結果が陽性であった者については、業務に従事させないこと。
- (5) 業務実施前及び実施後に、業務従事者名、使用薬剤の名称・成分を必ず発注者に報告すること。
- (6) 学校の入・退校時は、業務を行う学校に本業務の実施者であることを申し出ること。
- (7) 学校の業務に支障の無いよう配慮すること。
- (8) 衛生・火気等に注意すること。
- (9) 施設設備の汚損・破損防止のため、適切な養生を施すこと。
- (10) 業務実施中に事故が発生したとき及び施設等に汚損・破損等が生じたときは、直ちに発注者及び学校に報告すること。
- (11) 業務終了後、必要に応じて強制換気や清掃等を行うことにより学校の安全確保の徹底を図ること。
- (12) 各学校において業務が終了した際は、完了確認書（別紙1）を2部作成し、学校確認者の自署を受けること。なお、1部は学校に引き渡し、もう1部は保健体育課に提出すること。
- (13) 全ての学校の業務が終了した際は、完了届（別紙2）に、各学校の完了確認書（別紙1）を添えて保健体育課に提出すること。

## 5 薬剤使用に当たっての留意事項

薬剤使用に当たっては、以下の留意事項を遵守し、健康被害防止に最大限努めること。

- (1) 害虫等を防除する場合、使用薬剤は医薬品又は医薬部外品とすること。
- (2) 処理区域は必要最小限の範囲とし、薬剤使用量は必要最小限にとどめること。
- (3) 使用する薬剤は、ホウ酸団子やベイト剤処理等の毒餌配置を優先すること。その他の薬剤を使用する場合、昆虫成長制御剤（IGR）や水性乳剤などリスクのより少ない剤型の薬剤を選択すること。

(4) 食毒剤（毒餌剤）を使用する場合は、誤食防止、接触防止を図ること。また、害虫等の死骸は速やかに除去すること。

(5) やむを得ず薬剤を散布する場合は、さらに以下の注意事項を遵守すること。

なお、散布以外の方法を用いる場合も、必要に応じて同様の方法によるものとする。

ア 実施時間帯に配慮し、実施時に利用者等が薬剤に暴露することのないように、立入制限、入室禁止等の措置をとること。

イ 食品や食器等を移動し、養生シートを使用するなど、飛散防止措置をとること。

ウ 防除施行後は、施設管理者や利用者が留意すべきことについて伝えるとともに、必要に応じて強制換気、拭き取り清掃を実施すること。

エ 業務実施期間の前までに、作業の方法、使用薬剤名と想定される健康被害の例（めまいや吐き気、頭痛などの症状等）、注意事項（気分が悪くなったらその場を離れて新鮮な空気を吸うなどの対処方法等）等の情報について、発注者に提出すること。

## 6 規律維持

受注者は、業務に従事する作業員等に対する管理上の責任を負い、服務規律を維持し、秩序の保持に努め、業務を履行するものとする。

## 7 その他

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて協議のうえ定める。